

令和7年度 児童発達支援センターバンビ事業報告

1 基本方針

児童発達支援センターバンビは、「児童一人ひとりに対する丁寧な「根拠」ある療育」、「南区の中核的療育支援センターとしての役割」、「福祉施設としての地域への貢献」を理念とし、療育基本指針を策定して児童発達支援に努めた。また相模原療育園発達外来、診療部リハビリテーションと連携を図り、園児の発達を促す取り組みを実施した。

保育所等訪問支援事業については、契約園児の所属する保育園、幼稚園、こども園を訪問し、障害特性による個別的配慮やアドバイス等を行い、十分に連携を取ることができるよう支援に努めた。

2 児童発達支援

1) 概要

児童発達支援は、毎日通園児・週一通園児（保育園、幼稚園、こども園との並行通園で週一回一日）の混合5グループで行った。園児数は4月に毎日通園35名、週一通園34名、計69名の在籍となった。

療育時間は、10時～14時30分とし、年度初め（4月3日）夏休み（8月13日・14日・15日）年末年始（12月29日～1月4日）と年度末及び年度初め（3月30日～4月2日）以外は通園を実施した。

療育は、バンビの理念に基づいた療育基本指針「地域で自分らしく生活するために、乳幼児期から基本的な生活習慣を身につけられるように、保護者の方と共に療育を行う」「小集団の良さを活かしながらいろいろな環境への適応力を育て、生活力を養う」「一人ひとりの支援計画を作成し、相模原療育園の医療スタッフと連携しながら、全職員と保護者の方と力を合わせて発達を促す関わりに取り組む」に沿って実施した。

2) 毎日通園

(1) 園児数

きりん組7名、くま組7名、うさぎ組7名、らいおん組7名、りす組7名の5クラス計35名であった。（4月1日現在）

【年齢別内訳】

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男児	0	0	6	11	11	28
女児	0	0	2	3	2	7
計(名)	0	0	8	14	13	35

(2) 個別支援計画

保護者との面談を年3回実施し、意向・要望などの意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成、実施、評価を行った。

(3) 療育プログラムなど

- ①日々の活動を充実して実施できるよう療育指導計画(週日案)を作成した。小集団の中で子どもの障害特性に配慮し、様々な遊びや課題を通して運動能力、認知能力、社会性など、総合的な発達を促し、能力を引き出すことで、できることの喜びを感じ

たり自信をもつことにつながったりする療育活動を行った。

②一人ひとりが基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことができるように支援した。

③年齢に合う経験として以下の行事を実施した（★は保護者参加行事）。

- ・ 4月3日 入園式、始業式★
- ・ 7月7日 たなばた
- ・ 7月28日 夏祭り★
- ・ 10月6日 遠足（麻溝台公園）★
- ・ 10月27日 運動会★（年齢別に実施 AM:3歳児、4歳児 PM:5歳児）
- ・ 12月25日 クリスマス会
- ・ 1月26日 おたのしみ会★（年齢別に実施 AM:3歳児、4歳児 PM:5歳児）
- ・ 2月2日 節分、豆まき
- ・ 3月3日 ひなまつり
- ・ 3月27日 卒園式、終業式★

④地域交流として、引き続き相武台保育園との交流活動（さくらんぼ交流）を行った。

- ・ 5月19日 バンビ園庭遊び
- ・ 11月10日 バンビ園舎内での集団遊び
- ・ 11月4日・6日・12日・19日・21日『さがみはらんど（相武台保育園）』に
バンビ園児参加
- ・ 12月23日 相武台保育園 園庭ミニ運動会
- ・ 2月19日 バンビ園舎内での交流

④栄養管理計画に基づき、発達障害と幼児の特性に合わせた食事計画の立案と、一人ひとりの摂食能力・状態に食事形態を合わせるために、委託業者と1か月に一度「給食会議」を開いた。献立の内容、環境設定、摂食の評価をし、支援につなげた。

⑤卒園児は地域の小学校の特別支援学級10名、県立支援学校小学部への就学3名を合わせて13名であった。

（4）健康管理

園児の成長及び健康管理の把握のため、毎月の身体測定と年2回の内科、歯科健診を実施した。

春の健康診断	内科 5月22日	歯科 5月21日
秋の健康診断	内科 11月13日	歯科 11月12日

（5）保護者支援

療育参観・懇談会や行事を実施した。相談、講座等については<3 障害児相談支援>を参照。

3) 週一通園

（1）園児数

週一通園 34名を受け入れた。（4月1日現在）

【年齢別内訳】

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男児	0	0	10	9	7	26
女児	0	0	2	3	3	8
計(名)	0	0	12	12	10	34

(2) 個別支援計画

保護者との面談を年3回実施し、意向・要望などの意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成、実施、評価を行った。

(3) 療育プログラムなど

①日々の活動を充実して実施できるよう療育指導計画(週日案)を作成し、小集団の中で子どもの障害特性に配慮し、様々な遊びや課題を通して運動能力、認知能力、社会性など、総合的な発達を促し、能力を引き出すことで、できることの喜びを感じ自信をもつことにつなげる療育活動を行った。

②一人ひとりが基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことができるように支援した。

③年齢に合う経験として以下の行事を実施した。

- ・ 7月7日 たなばた
- ・ 12月25日 クリスマス会
- ・ 2月2日 節分、豆まき
- ・ 3月3日 ひなまつり
- ・ 3月13～19日 卒園セレモニー(保護者参加)

④栄養管理計画に基づき、発達障害と幼児の特性に合わせた食事計画の立案と、一人ひとりの摂食能力・状態に食事形態を合わせるために、委託業者と1か月に一度「給食会議」を開いた。献立の内容、環境設定、摂食の評価をし、支援につなげた。

⑤卒園児は地域の小学校(特別支援学級 8名、通常の学級 1名)、特別支援学校1名の、計10名であった。

(4) 健康管理

園児の成長及び健康管理は所属園に依頼し、年2回の確認を行った。

(5) 保護者支援

①療育参観は年4回の設定日以外に随時参観ができるようにした。

相談、講座等については<3 障害児相談支援>を参照。

4) 各通園形態共通

(1) 相模原療育園発達外来との連携

療育、医療交流モデルの構築の中核事業として、相模原療育園診療部リハビリテーションとの定期的な連携を図り、療育の場面での効果的なサポートを受けた。また発達外来医師と看護師、リハスタッフ、バンビ職員参加のバン療会議(バンビと相模原

療育園担当者会議)をリモート開催し、情報交換等を行なった。

細田統括施設長、臨床心理士の訪問による保護者相談日については<3 障害児相談支援>を参照。

【リハスタッフ・訪問実績】

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	OT 1名	OT 1名		OT 1名	OT 1名	OT 1名
PT 1名	PT 1名		PT 1名	PT 1名		

【臨床心理士訪問実績】各月の日にちを記載

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
18, 30	12, 21	3, 19	4, 17	4, 20	2, 25	3, 16	4, 10	9, 25	14, 19	2, 20	3, 11

(2) 保護者支援

療育参観は年2回の設定日以外に随時参観ができるようにした。

相談、講座等については<3 障害児相談支援>を参照。

(3) 衛生管理

園内の清掃・安全衛生管理を徹底し、感染症予防の研修を園内で実施した。

(4) 事故防止

園内の備品、危険箇所を常にチェックし、事故防止に努めた。また事故発生時はマニュアルに沿った対応を実施した。

(5) 出席率

各通園の出席率は次のとおりだった。

・毎日通園

単位：%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
出席率	89.74	87.43	86.53	90.91	83.53	88.75	91.17
月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	
出席率	85.87	87.29	90.68	88.25	91.13	88.44	

・週一通園

単位：%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
出席率	85.54	89.24	86.81	86.06	85.48	88.08	84.32
月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	
出席率	84.62	80.77	82.05	74.83	71.15	83.25	

3 障害児相談支援

保護者からの相談は随時受け付け、内容によって園長・児童発達支援管理責任者・担任が面談や電話での対応を行った。

細田統括施設長による医療相談『Dr. 細田の育児相談』、臨床心理士である吉田先生による月2回の相談日、保護者交流の場である『おしゃべり会』、グループでの相談援助としてペア

レント・トレーニングを行った。開催の詳細については以下の通り。

<Dr. 細田の育児相談日 及び相談件数> 相談件数上限は月 1 件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日		5	17	15			21	18	16	20	17	17
件数		1	1	1			1	1	1	1	1	1

<臨床心理士 相談日 及び相談件数> 相談件数上限は月 4 件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数		1	1	3	1	0	0	0	0	0	1	1

<子育て講座>

開催日	内容	講師	参加
6/6~6/15	先輩ママのお話（動画配信）支援学校	卒園児保護者	45名
	先輩ママのお話（動画配信）支援学級	卒園児保護者	48名
8/26	バンビに通う子ども達の「からだ」と「うんどう」からみる発達支援のお話	相模原療育園 理学療法士	12名
10/1	「子育てに活かす発達の理解」	陽光園 心理士	10名
11/21 ~11/25	同上（動画配信）	相模原療育園 理学療法士	43名

<ペアトレ> 6回シリーズ

開催日	内容	参加
11/14	子どもの行動を振り返る	6名
11/28	子育ての工夫（1）子どもが学びやすい環境整備	6名
12/12	子育ての工夫（2）意欲を育てる	4名
12/26	子育ての工夫（3）ほめ上手になる	5名
1/9	声掛けの仕方	5名
1/23	まとめ…学んだことを続ける工夫	6名

<おしゃべり会>

開催日	内容	参加
6/30	日常生活・生活の自立・就学	15名
9/12	日常生活・生活の自立・就学	7名
12/4	日常生活・生活の自立・就学	9名
2/12	日常生活・生活の自立・就学	9名

4 保育所等訪問支援

1) 総括

- (1) 週一通園児を対象とした幼稚園・こども園・保育所への訪問は、希望者による契約 26 名（年長児 5 名、年中児 12 名、年少児 9 名）であった。
- (2) 週一通園児の訪問は児発管、クラス担任がった。所属園での生活の様子を観察後、所属園の担任との情報交換及び集団生活上の留意点や障害特性による個別的配慮へのアドバイスなど必要な支援を行った。その後、園児の園での様子や所属園の担任との話し合いの内容などを保護者に報告を行い、所属園と連携して園児の成長を促すことに繋げた。
- (3) 所属園への訪問回数は年 2 回程度とし、児の都合や所属園の行事の関係などで訪問を 1 回として電話での情報交換とすることもあった。

2) 個別支援計画

保護者との面談により意向・要望等の意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成し、計画実施後評価を行った。訪問での様子や所属園との連携の姿等を訪問後に直接保護者との連絡や話し合いで伝えることができた。

3) 訪問実績（件数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計（件）
0	0	1	11	8	9	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	55
2	5	7	7	5	0	

5 地域交流等

【実習生等】

学生の就職活動にもつながる学びの場として、各大学等の保育実習の受け入れを行った

期 間	内 容	学校名	人 数
7 月 14 日～7 月 17 日	看護実習	北里大学	2 名
8 月 19 日～9 月 3 日	保育実習	鎌倉女子大学短期大学部	1 名
9 月 8 日～9 月 22 日	保育実習	リカレントこどもアカデミー	1 名
10 月 1 日～10 月 17 日	保育実習	東海大学	2 名
1 月 27 日～2 月 12 日	保育実習	和光大学	2 名
2 月 16 日～3 月 4 日	保育実習	相模女子大学	1 名
2 月 16 日～3 月 3 日	保育実習	鶴見短期大学	1 名
3 月 3 日～ 3 月 10 日	保育実習	湘北短期大学	2 名

【職場体験】

市内の中学生の職業体験を受け入れた。

期 間	内 容	学校名	人数
11月12日～11月13日	職業体験	相武台中学校	2名

【相模原市保育者ステップアップ研修】

相模原市（保育課）が行った市内の幼稚園・保育園・こども園の職員の研修を受け入れた。

期 間	内 容	参加者園名	人 数
6月20日	自主研修	ちゅうりっぷ保育園 大野文化幼稚園 東林保育園	3名
7月14日	自主研修	ワクワク保育室 まあむキッズ 大沼保育園	3名
8月29日	自主管理	T&Y こもれびの森 陽光台保育園 橋本りんごこども園	3名

6 施設管理

安全計画に基づき、以下の訓練、点検等を行った。

1) 防火・防災

- (1) 不時の災害に的確に対応するため、防災対策マニュアルに基づき月1回の避難訓練、防災機器の点検、通報訓練・消火訓練、総合訓練を実施した。

通報訓練 令和7年5月9日（金） 14：40～15：00

令和7年8月25日（月） 14：40～15：00

消火訓練 令和7年5月9日（金） 14：40～15：00

令和7年8月25日（月） 14：40～15：00

総合訓練 令和7年11月26日（水） 10：40～11：00

- (2) 災害時の食糧は、園児(定員40名分)、職員分として3日分備蓄した。

- (3) 避難訓練、防災訓練実績

実施日	訓練想定	実施日	訓練想定
4月28日	クラスでまとまって活動中の地震・出火（午前中）	9月8日	【引き渡し訓練】 大規模災害や事件等で、バスが運行できなくなった時の対応として、引き渡し訓練の実施
5月9日	水消火器を使った消火訓練 【通報訓練】	10月31日	各クラスで散歩中(近隣の保育園)に地震発生・避難・待機・連絡

5月19日	クラスでまとまって活動中の地震・出火（午後） 二次避難を想定して、園庭に避難	11月26日	クラスがまとまって活動している時の地震・火災 テラスを通過して遊戯室へ移動。 【総合訓練】（消火・通報・避難訓練）
6月17日	クラスがグループに分かれて活動しているときの地震・出火（午後） 各グループの職員が園庭へ避難誘導	12月11日	2階で活動をしている時の地震・出火。非常階段を通過して園庭門扉前へ移動
7月11日	クラスがグループに分かれて活動している時の地震・出火 園舎内を通過して玄関ホールに移動	1月23日	2階で活動をしている時の地震・出火。非常階段を通過して園庭門扉前へ移動
8月21日	バス運行[登園・降園]中の地震。行き帰りでそれぞれ訓練を実施 バス内での安全確保と園への連絡	2月9日	静養室から出火。ホールに避難後、若草中学校へ全員避難 【二次避難訓練】
8月25日	【通報訓練】 水消火器を使った消火訓練	3月25日	2階保護者控室から出火 クラスごとに適切な経路で火元から離れた安全な場所に集合 【事前予告無し避難訓練】

2) 防犯

不審者の侵入などに対し、防犯訓練を実施するとともに、施設内不審者侵入防止に努めた。

(1) 不審者訓練

日 時	研修・訓練	場 所
8月22日	不審者対策・相模原南警察との連携	玄関から侵入 屋内～屋上園舎内訓練

(2) 行方不明等事故管理対策マニュアル

昨年修正した地図の見直しを行い加筆修正した。

7 職員教育

職場内研修、外部研修を、児童発達支援の知識を増やし質の向上させること、職員意識の向上を目的として行った。また日々のミーティングの中とバン療会議でケース検討を実施した。動画視聴による全職員研修を行うことができた。

(1) 職場内研修

月 日	内 容	参加人数
8月22日	不審者侵入訓練	9名
10月14日	不適切療育セルフチェック、動画視聴研修	全職員
11月5日	発災時の職員安否確認及び参集訓練	18名
12月1日	人権擁護・障害謝虐待防止研修	6名
1月9日	感染症及び食中毒防止対策・嘔吐処理 研修	9名
1月13日	発達検査の考え方と活かし方（心理士）	7名
1月30日	幼児安全法/ 応急措置・AED・心肺蘇生法・気道異物除去等	8名
2月17日	・発達外来で出会った子どもとお母さんが教えてくれたこと ・バンビの歴史	8名

(2) 外部研修

- 接遇・マナー振り返り研修 (安藤早織) 1月27日・2月3日
- 児童発達管理責任者研修 (山口香名衣) 7月18日～31日
(照沼里紗) 11月21日、1月15日～27日
- モチベーションマネジメント研修 (山田貴子) 2月13日

(3) 現任研修

保育及び療育等の実践内容の共有、職員の知識や技能の向上、子育て支援についての学びあいを目的として、バンビ職員と相武台保育園との職員交流による現場研修を行った。どちらも前期、後期ともに、幼児の成長の様子がわかりやすいよう同じクラスで研修を行った。

【保育園よりバンビへ】 9：00～15：00

6月19日/11月10日	菊地保育士	くま組
7月2日/11月11日	西原保育士	うさぎ組
6月27日/11月14日	浦野保育士	うさぎ組
7月3日/1月21日	田中保育士	きりん組

【バンビより保育園へ】

2月18日	山田	3～5歳児 14：45～16：00
2月24日	照沼	0～1歳児 14：45～16：00
6月13日/2月27日	安藤	0～1歳児 14：45～16：00
	山口	3～5歳児 14：45～16：00
6月9日/3月5日	尾山	0～1歳児 9：00～16：00
6月11日/3月12日	千田	2歳児 9：00～16：00

8 相談支援事業所アウル事業

1) 利用者状況

(1) 相談支援を利用した人数と障害種別

(単位：人)

	実人員		身体障害		重症心身障害		知的障害		発達障害		高次脳機能障害	
	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児
4月	24	17	2	0	7	3	6	1	9	13	0	0
5月	16	19	3	0	5	4	5	1	3	14	0	0
6月	13	20	2	0	8	3	1	4	2	13	0	0
7月	26	27	4	3	11	7	4	9	7	8	0	0
8月	13	19	1	1	6	3	3	4	3	11	0	0
9月	17	24	1	0	8	2	1	4	7	18	0	0
10月	11	16	2	0	7	3	2	2	0	11	0	0
11月	10	19	3	0	4	4	3	1	3	11	0	0
12月	11	20	0	0	7	2	2	5	2	13	0	0
1月	19	21	3	1	12	5	1	7	2	8	1	0
2月	15	24	2	0	12	4	1	5	1	14	0	0
3月	25	16	0	0	16	3	2	5	8	7	0	0
小計	200	242	23	5	103	43	31	48	46	141	1	0
総計	442		28		146		79		187		1	

(2) 支援方法

(単位：件)

(3) 支援(相談)内容

(単位：件)

訪問	126
来所相談	121
同行	15
電話相談	172
電子メール	0
個別支援会議等	12
関係機関	6
その他	0
合計	452

福祉サービスの利用に関する支援	447
障害や病状の理解に関する支援	1
健康・医療に関する支援	0
不安の解消・情緒安定に関する支援	2
保育・教育に関する支援	1
家族関係・人間関係に関する支援	1
その他	0
合計	452

(4) 対応結果

(単位：件)

聞き取り	307
モニタリング	128
情報提供・収集	4
他機関紹介	0
同行(サービス調整)	9
代行	0
アセスメント	0

緊急対応	0
不安の解消	1
見守り・状況確認	2
連絡調整	1
その他	0
合 計	452

(5) 利用実績 (支援費受領件数)

(単位：件)

	障害者			障害児		
	計画案・計画	モニタリング	計	計画案・計画	モニタリング	計
4月	20	9	29	12	7	19
5月	4	10	14	6	11	17
6月	2	11	13	8	8	16
7月	6	16	22	17	10	27
8月	6	9	15	11	8	19
9月	5	9	14	18	12	30
10月	2	7	9	5	7	12
11月	7	7	14	8	5	13
12月	4	8	12	13	7	20
1月	3	20	23	12	10	22
2月	7	10	17	12	15	27
3月	3	1	4	5	2	7
総計	69	117	186	127	102	229

2) 地域連携等

(1) 個別支援検討会議等

日 時	会 議 名	主催・場所
4月18日	担当者会議	サニースポット相模原鶴野森
4月25日	支援会議	きらら
4月25日	支援会議	わーく. ファミリア
6月13日	担当者会議	燈
7月17日	担当者会議	燈
7月17日	支援会議	光が丘小学校
7月22日	移行支援会議	座間支援学校
7月28日	移行支援会議	座間支援学校
7月31日	移行支援会議	座間支援学校
8月7日	移行支援会議	サイレントフット
9月3日	支援会議	グループホームけやき

9月9日	ケースカンファレンス	北里大学病院
9月10日	支援会議	わーく. ファミリア
9月18日	支援会議	ユースタイルホーム相模原淵野辺
10月15日	担当者会議	ユースタイルホーム相模原大野台
10月22日	担当者会議	ユースタイルホーム相模原淵野辺
11月20日	担当者会議	ユースタイルホーム相模原淵野辺
12月2日	担当者会議	ユースタイルホーム相模原淵野辺
12月16日	担当者会議	ユースタイルホーム相模原淵野辺
1月21日	担当者会議	ユースタイルホーム相模原淵野辺
2月4日	担当者会議	相談支援事業所アウル
2月17日	担当者会議	相談支援事業所アウル
2月26日	担当者会議	相談支援事業所アウル
3月4日	支援会議	わーく. ファミリア
3月24日	支援会議	光が丘小学校
3月25日	拡大会議	中央中学校
3月26日	担当者会議	相談支援事業所アウル

(2) 研修等

開催月	研修名	実施主体	参加者
7月～9月	神奈川県相談支援従事者現任研修	神奈川県	1名
12月1日	障害者虐待防止研修	相模原療育園	1名
1月9日	感染症対策研修	相模原療育園	1名